

令和3年6月21日

墨田区長
山本 亨 様

墨田区協治（ガバナンス）まちづくり推進基金審査会
会長 會田 玉美

令和2年度における協治（ガバナンス）まちづくり推進基金からの
助成事業（すみだの力応援助成事業・すみだの夢応援助成事業）の評価
について

令和2年6月6日付け2墨地地第270号をもって貴職より諮問のありました
事項のうち、下記事項に関して結論を得ましたので、別紙のとおり答申します。

記

1. 令和2年度における協治（ガバナンス）まちづくり推進基金からの
助成事業（すみだの力応援助成事業・すみだの夢応援助成事業）の
評価について

(別紙)

令和2年度すみだの力応援助成金を交付した5事業及びすみだの夢応援助成金を交付した1事業の評価について審議した結果、以下のとおり意見をまとめました。

■すみだの力応援助成事業（5事業）

	団体名	事業名	助成額(円)
1	SSJF 曳舟まちかど実行委員会	第3回すみだストリートジャズフェスティバル in ひきふね ON LINE	500,000
	(意見) 3年間の助成を受けて、団体として着実に成長できたと言える。コロナ禍でも感染症対策を万全に行った上でオンライン配信に挑み、事業を継続して実施できたことを評価する。また、他団体や企業、地域の方とも協働し、多くの視聴者に地域のPRができたことも評価できる。今後は、情報受発信の弱者への対応も検討しつつ、リアルとオンライン両方の良さを取り入れるなど、さらに幅広い世代が参加できるような工夫を期待する。これからも他団体等とより一層連携し、事業を継続してもらいたい。		
2	京島長屋文化連絡会	オンライン関係住人ツーリズム事業	400,000
	(意見) コロナ禍でオンライン事業に挑戦した点、オンライン形態でのツアー実施により、海外の方の視点も取り入れたことで、地域の新たな魅力や地域の方々のモチベーションを引き出すことができた点は評価できる。一方で、ツアーとして成り立つためには魅力が必要になることから、魅力を発掘して、どう見せるかという下準備が重要と考えられる。今回の事業の組み方、広報の方法等については事前の計画不足とも言える側面があったので、どこにニーズがあるのか、誰がターゲットなのか、さらには地域との関わりも考慮した上で、綿密な事業計画を練ってもらいたい。今後も事業を継続する際には、地域の輪を広げていけるよう、一層の創意工夫が望まれる。		

	団体名	事業名	助成額(円)
3	すみだ向島 EXPO 2020 実行委員会	まちの人とすみだ向島の風景を考える事業	400,000
	<p>(意見)</p> <p>地元住民がまちの魅力について語り合い、関心を高めるきっかけを創り出した点は評価できる。様々なテーマでのトークイベントは、まちを多角的に捉える上で有意義だったのではないかと考えられる。一方、建築家等の専門家は参加していたようだが、肝心の地元住民の参加は一部に留まっているため、地元住民をさらに巻き込む工夫が求められる。さらには、アーカイブ(報告書)は作成後にどう活用するかを明確にする等、成果をどのような形で還元するのかわを示してもらいたい。助成金の使い道については、必要な経費を精査した上での事業継続が望まれる。</p>		
4	錦糸公園ものまねプロ野球 運営役員会	錦糸公園ものまねプロ野球 コロナ第2波対策プロジェクト	260,000
	<p>(意見)</p> <p>コロナ禍で暗い世の中を明るくしようと試み、感染症対策事業に娯楽性を持たせ、楽しませながら啓発を行えた点は評価できる。一方で、感染症対策についての動画であったことから、専門家の監修を受けることが望ましかった。また、動画制作以外の成果が不明瞭であり、墨田区や子ども達との関わりが弱かったことは否めない。今後も事業を継続する場合、地域の方や子ども達との交流を重視し、錦糸公園以外の街中や墨田区の名所でも撮影を行うなど、地域に密着した墨田区らしい内容となることを期待する。</p>		
5	スミダ SGEP	後世に伝えるための戦後 75 年事業 一戦中戦後の暮らしの工夫・知恵一	479,000
	<p>(意見)</p> <p>コロナ禍でも戦争経験者の話を聞き集め、貴重な記録を残すことができた点を評価する。上映会にも多くの人が集まり、関心の高さが伺えることから、今後もより多くの人に見てもらえるような工夫が求められる。オンラインでの配信も視野に入れ、上映の機会を積極的に設けてもらいたい。子ども達に向けては、制作した DVD の上映後に戦争経験者と話し合うことができる場を設ける、あるいはケーススタディをさせる等の授業ができると望ましい。伝えるだけでなく、「戦争」と「平和」について考える教材に繋がることを期待する。</p>		

■すみだの夢応援助成事業（1事業）

	団体名	事業名	助成額(円)
	公益財団法人 新日本フィルハーモニー交響楽団	「音楽の力で人とまちを元気に」プロジェクト	39,213,250
1	<p>(意見)</p> <p>今回で4回目の助成となる中、オンラインを活用して音楽とともにすみだの名所を届けるまちかど配信事業など、様々な方法を模索しながら創意工夫をもって活動を実施した点を評価する。また、コロナ禍にもかかわらず、例年よりも寄付件数が多く、支援者の裾野の広がりも感じられた。今後も「音楽都市すみだ」から多くの方々にクラシック音楽の魅力を発信し、音楽を通じた地域活性化に取り組んでいただきたい。これまでの事業の成果や課題を把握し、リアルとオンラインの利点をうまく使い分けながら、小中学生や高齢者にも音楽が届きやすい事業展開につながることを期待する。</p>		